

神戸で 総合防災訓練 - 西日本防災システム

2013 09 18

9月18日 近い将来発生するであろう南海トラフ地震に備え、石油コンビナートでの火災を想定した総合防災訓練が、神戸市長田区浪松町の昭和シェル石油神戸事業所などで行われました。2012年9月に日本触媒姫路製造所で37人が死傷された爆発事故を教訓に、参加された皆さんは訓練に真剣に取り組んでおられました。

県や県警、神戸海上保安部、消防など16機関から175人が参加したそうです。訓練は和歌山県沖で巨大地震が発生したとの想定で、海上と陸上の2部構成で行われたようです。

海上訓練では、石油タンクから漏洩した軽油が広がるのを防ぐためフェンスを設置したり、巡視艇から放水して消火に当るなどを行い、陸上訓練では、負傷した作業員の救出や、タンクから発生した火災を消防車が消火する手順を確認したようです。

訓練終了後、参加された皆さんは日本触媒爆発事故で殉職された姫路市消防局の山本永浩さんに黙祷を捧げたそうです。
あのような悲しい事故はもう二度とあってはならないですね！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

